

・基本の習得を重視する学年・学級経営に関すること

(3) 調査対象校

県内の小学校，中学校，高等学校について，各教育事務所および高等学校の20%を無作為に抽出して調査対象校とした。

(4) 調査対象者

調査対象者は教諭とし，各学校の実情を考慮して小・中規模校を4名，大規模校を8名とし，年代別人数を次のようにして抽出した。

〈規模別，年代別人数〉

規模	年代				合計
	20	30	40	50	
小・中規模校	1	1	1	1	4名
大規模校	2	2	2	2	8名

学校規模の基準は次の通りである。

規模	小・中学校	高等学校
小	1～11学級	生徒数300名以下
中	12～18学級	生徒数301～800名
大	19学級以上	生徒数801名以上

(5) 調査回収率 (97.2%)

調査回収率の内訳は次の通りである。

学校別	依頼者数	回答者数	回収率
小学校	503名	495名	98.4%
中学校	218名	202名	92.7%
高等学校	123名	123名	100%

(6) 調査回答者の年代別人数一覧

学校	規模	20代	30代	40代	50代	小計	合計
		小学校	47	50	38	29	
中	33	36	32	35	136		
大	50	49	50	46	195		
中学校	小	21	22	16	16	75	202名
	中	16	16	16	15	63	
	大	16	16	16	16	64	
高等学校	小	4	4	4	3	15	123名
	中	2	2	2	2	8	
	大	26	25	26	23	100	
合計		215	220	200	185	820名	

2. 調査研究の結果とその考察

820名の教師の回答で得られたデータは，当センターのコンピュータに直接打ち込み，各設問ごとに先に述べた4つの視点から整理し，下記の観点からグラフ化して考察した。

- ・ 年代別傾向
- ・ 規模別傾向
- ・ 経験年数別傾向
- ・ 担当学年別傾向
- ・ 全体傾向
- ・ 男女別傾向
- ・ 校種別傾向
- ・ 学級担任および学年主任とそれ以外の教師の違い
- ・ 指導担当時数および指導担当児童生徒数による違い
- ・ その他

なお，スペースに限りがあるので，特に顕著な結果をあげて考察する。